

声あげれば社会変わる

都立北園高校 都立北園高校 都立北園高校
元生徒会長・大学生 安達晴野さん

に取り組みました。「声をあげれば、社会や政治は変わるんだ」と実感した」と語ります。行動するなかで「どんどん一緒にあって活動する友達が増えて、うれしかったし力になった」。

選挙の一環を「不断の努力の結果、ようやく確立した民主主義によって得ることのできたかけがえのない権利」と訴えます。

「投票することは政治家への大きなメッセージになる。投票には落選の結果にかかわらず大きな意味と効果がある。ぜひ投票しましょう」



「投票することは政治家への大きなメッセージになる。投票には落選の結果にかかわらず大きな意味と効果がある。ぜひ投票しましょう」

「2030戦略」を評価

小田原かなこ氏
ファーム代表
小山田大和さん
神奈川県で農業とソーラー発電を組み合わせたソーラーシェアリングを実践している

「2030戦略」を評価します。「原発ゼロ、石炭火力中止、ソーラーシェアリングの実施を言っているのは、共産党だけ。実践している人間だからこそ、この戦略がいかにすばらしいかを言える」



「2030戦略」を評価します。「原発ゼロ、石炭火力中止、ソーラーシェアリングの実施を言っているのは、共産党だけ。実践している人間だからこそ、この戦略がいかにすばらしいかを言える」

ジェンダー平等ばく進

弁護士 太田啓子さん

共産党のジェンダー政策を「すこく期待しています。力を入れるべきことを書いてくださっている。実際に具体的に動いている議員も多いので、この通りにばく進してほしい」とエールを送ります。

「痴漢って身近な性暴力だと思えます。軽視されているこの問題を共産党議員などが取り上げ「政治の上で何とかしようと思う人が増えた」と語ります。

「選挙で社会は変えられます。社会をよくしたい思いを込めて大事に一票を使いたす」



「痴漢って身近な性暴力だと思えます。軽視されているこの問題を共産党議員などが取り上げ「政治の上で何とかしようと思う人が増えた」と語ります。」

命の重さを伝えられる

日本城タクシードライバー社長 坂本篤紀さん

大阪での維新政治を「議会無視」とバツサリ。府議会の議員定数削減を「少数議員の切り捨て。もうそろそろあの様な改革にたまされるのをやめなさい」と訴えます。

「自公政権の新しい民主主義的政策を「お友達資本主義」と批判。低賃金や規制緩和の改善を訴えます。「世界は民営化か公営化になっているのに、世界の失敗をどんでん返す。友達だけが潤うおかしな政治」だと語り、「われわれ小さい貧乏人の声を届けていただくことが大事」と期待をこめます。

「どつかれても連れていかれても戦争に反対してきた共産党は兵士の命の重さを伝えることが出来る」



「どつかれても連れていかれても戦争に反対してきた共産党は兵士の命の重さを伝えることが出来る」

#未来は選べる 共産党に期待

各界の多彩な人たちが参院選へ託す思いや日本共産党への期待を語ったインタビュー動画「#未来は選べる メッセージ」が、共感を広げています。約50秒間のツイッター動画と数分間のYouTube版を、共産党の参院選特設サイトから見る事ができます。他の人たちの動画も随時アップします。

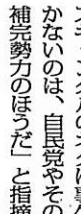
良心や人権の守護者だ

作家・法政大学教授 島田雅彦さん

首相も大臣も官僚も、しよせんアメリカの統治に全面協力する地方行政官にすぎない」と批判します。

「この国の施政者たちは、率先して憲法を軽視している。改憲を主張する国会議員がいるのは、憲法が独裁や戦争、人権蹂躞を許さない法典であって、市民の味方だからでしょ」と強調します。

共産党応援の理由は明確です。「日本共産党は私たちの良心や人権の守護者であり、貧困からの解放を約束し、かつ戦争もせず、最適な安全保障を行使してくれるでしょう。最も信頼できる、掛け金のいらない保険なのです。日本の没落より復活を望むなら、共産党を支持するしかありません」



「首相も大臣も官僚も、しよせんアメリカの統治に全面協力する地方行政官にすぎない」と批判します。」

批判・質問できる議員

法政大学前総長 田中優子さん

「人間がどのような社会をつくるべきか」をめぐる、学問で紀元前からさまざまな議論や研究が行われてきたと語ります。

自公政権はそうした学問を「短い政権の中で、自分たちの思う方向に持っていく」としている。それでは、人類、国民に対して大きな損失を招いてしまう」と指摘。軍事研究は、戦争で勝つための「非常に狭い学問観だ」と批判します。

学術会議の任命拒否問題については与党側から説明も議論もなく、「民主主義国家としては、まことに貧弱と考えています」。

参院選では野党を強くして、与党を迫る力を上げていくべきだと訴えます。「批判でき、質問できる議員を絶対に送り込まなくてはならない。投票率が高ければちゃんと国民の意向が反映されます。ですから、とにかく投票にいらしてほしい」



「人間がどのような社会をつくるべきか」をめぐる、学問で紀元前からさまざまな議論や研究が行われてきたと語ります。」

憲法くんから託された

スタンダップ コメディアン 松元ヒロさん

憲法前文をテーマにした「憲法くん」を演じ、絵本も出しています。生前、永六輔さんから「9条をよろしく」と託された」と語りま

「憲法くん」と語り、10万人以上の日本人と2千万人以上のアジアの人々が犠牲になったことにも触れています。この私をどうするかは、みなさんに託しましたよ」

今の政府は「国民の声を聞く内閣」と言ってくれ、実際は「国民の声をキックする内閣」だと批判。憲法くんになり、こう言います。「この私をどうするかは、みなさんに託しましたよ」



「憲法くん」を演じ、絵本も出しています。生前、永六輔さんから「9条をよろしく」と託された」と語りま